

一般質問通告書一覧表

令和元年第4回定例会

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	中沢 仁 議 員	1. 稲敷市におけるふるさと納税について	稲敷市におけるふるさと納税について伺う。	市長 副市長 担当部長
		2. 稲敷市におけるシティプロモーションについて	平成28年第4回定例会で質問した稲敷市におけるフィルムコミッションを含めたシティプロモーションのその後の進捗状況について伺う。	市長 副市長 担当部長
2	篠田 純一 議 員	1. 台風や大雨への市内排水計画及び対策について	台風や大雨による道路冠水や床下・床上浸水への対策は急務である。 市内における道路冠水、床下・床上浸水被害が発生した地域は、排水計画が必要と考える。また、今回被害が発生した箇所へも今後どのように対策をしていくのか伺う。	市長 副市長 担当部長
		2. 議会議員と執行部との災害情報の共有を強化する体制について	議会運営委員会では、市の非常体制・第2配備が敷かれた場合の災害発生時の対応方針を定めた。第2配備以外の本年9月以降のそれぞれの災害においても、議会議員と執行部との災害情報の共有を強化する体制を作る事は急務と考える。 議員へと集まる情報、また議員が得られた情報を執行部へ伝え、そして執行部はその情報等をどのように集約し、その対応策についてどのように議員へ伝えるか今後の体制について伺う。	市長 副市長 担当部長
3	柳町 政広 議 員	稲敷市の防災対策について	①今般の台風15号、19号及び大雨による稲敷市の被害状況と対応について(全般/農作物被害/河川・道路倒木等/学童・児童生徒の登下校/廃棄物等) ②稲敷市の災害協定の現状と今後について ③市内の自主防災組織の現状と今後について	市長 担当部長
4	沼崎 孝雄 議 員	成田空港の更なる機能強化に伴う環境対策について	成田空港の運用時間が開港以来初めて1時間延長され、深夜0時までとなりました。稲敷市の一部地域において第一種騒音区域に指定され、NAAにより騒音対策費が出される。 稲敷市の対策地域の外側における対策費補助の取組みについて伺う。	市長 担当部長
5	松戸 千秋 議 員	災害対策の強化について	近年の自然災害は想定をはるかに超える甚大な被害をもたらしています。稲敷市の災害対策の検証と今後の対策強化について伺う。 ①避難所の開設について ②備蓄品の整備について ③情報伝達のあり方について ④自主防災組織と防災士の役割について	市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	竹神 裕輔 議員	子育て支援センターの運営について	①利用者数の推移と現状・課題について ②幼保無償化による影響と今後の運営方針について ③ファミリーサポートセンター事業について	市長 担当部長
7	中村 三郎 議員	1. 飼料用米について	飼料用米の収穫量は、ここ数年減収傾向にあるが、今年も相次ぐ風水害に見舞われて大幅な減収となっており、殆どの生産者が基準収量を確保出来ない状況ですが、市の対応を伺う。	市長 担当部長
		2. 異常降水時における対策について	この度の台風15号の大雨により幹線排水機場である十余島、伊崎両機場の停電が数日間に渡ってしまったため、収穫目前の水稻が水没してしまい、穂発芽を誘発して著しく品質低下を招いてしまったが、異常降水時の市の対策について伺う。	市長 担当部長
		3. 広域農道の西代、稲敷大橋間の県道への格上げについて	現在、広域農道となっている西代、稲敷大橋間は稲敷市が維持管理しているが、しかしながら稲敷大橋から先の浮島地先は県道となっており、茨城県が管理している。広域農道の現状は鹿島工業地帯から関東各方面への産業道路であり、広域農道の県道への格上げについて伺う。	市長
8	山本 彰治 議員	今年の台風災害による今後の教訓について	①今年の台風災害では、今後の自然災害に対して多くの課題を残してくれました。その中で、管理者が不在の空き家は二次災害の危険があることがあらためて認識されました。危険な空き家がそのまま放置されないための今後の対策を伺う。 ②全国に報道された今回の台風災害の中で、気になるのが避難所でのプライバシーの問題でした。自治体によってはきちんと仕切りがあつて、また、ほかの自治体では全くの雑魚寝状態でした。避難生活が長引く場合を想定し、プライバシーについての備えはどう考えるか伺う。	市長 担当部長
9	寺崎 久美子 議員	大雨豪雨に特化した防災・減災について	①災害情報の伝達について 避難行動にむけての正確な情報伝達について伺う。 ②災害時の避難所について 災害避難協定を結んでいる隣接市町村の避難所開設について伺う。 ③災害時の学校の下校対応について 気象観測データから大雨警戒が早めに呼びかけられたが、下校対応について伺う。	市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	若松 宏幸 議 員	1. 再生可能エネルギーによる地域活性化に向けた取り組みについて	使用する電力の全てを再生可能エネルギーで発電した電力にすることに取組んでいる企業の連合体「RE100」が世界的に広がっています。また、昨年7月「エネルギー基本計画」が閣議決定され、「再生可能エネルギーの主力電源化」が盛り込まれました。このような社会情勢に対応する意味でも、再生可能エネルギーの活用強化が必要と考えます。多くの自治体が再生可能エネルギー活用による地域活性化に貢献する公益的事業体に取り組んでいるが、稲敷市の対応について伺う。	市長 担当部長
		2. 地域づくりにおける社会教育の充実について	稲敷市では生涯学習講座、いなしき子ども大学や社会体育関連事業等、様々な社会教育、学習活動を行っていますが、地域の課題解決につながっているとは言い難い、のが実情です。弱い立場の人の課題を共有化することで見えてくるものがあります。地域の諸問題を解決するための社会教育について伺う。	市長 担当部長
11	椎野 隆 議 員	1. 稲敷市の防災無線について	①現在何ヶ所設置されているか。それで周知できているのか。 ②拡大する予定はあるのか。	市長 担当部長
		2. 情報発信について	①市の情報等をインターネットやスマートフォンで周知しているが、加入者はどの位いるか。充分なのか。 ②情報が届かない人へ向けての利用の推進の仕方(スマートフォンを持っている人へ)はどうか。	市長 担当部長
		3. 環境美化について	①環境美化条例に定める危険状態にある枯れ草等の市民からの苦情件数は何件あるか。 ②環境美化条例に基づき、市から勧告しているにもかかわらず、放置されている件はないのか ③自宅に隣地からの倒木の危険がある場合の対策はどうなっているか。	市長 担当部長
12	山口 清吉 議 員	1. 洪水対策について	10月の豪雨(台風21号)により鳩崎(姥神)周辺で洪水が発生し、5件が床上浸水となりました。当事者、地域住民は筆舌に尽くし難い苦勞をしています。 床上浸水(洪水)が起きないように抜本的対策を求めます。 今回も災害が起き、事後のフォローがされず大変苦勞しています。行政としても援助すべきではないかと考えるがいかがか。	市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
		2. 住宅リフォーム制度について	住宅リフォーム制度はリフォームする市民にも工事をする業者にも喜ばれ、稲敷市の活性化にもつながります。県内では少ない市町村が実施しています。 本市でも住宅リフォーム制度を実施する考えはないか伺う。	市長 担当部長
13	根本 浩 議 員	1. 稲敷市文化振興基金条例の設置が必要と考えるが伺う。	地域の特徴である水と緑に包まれた豊かな自然と受け継がれる伝統・歴史の息づく稲敷市が多く市民の誇りと愛着のある「ふるさと」として成熟していくように、今、この場に立っている我々は先駆けになって取り組まなければならない問題だと感じます。その上で文化振興基金条例が必要になると考えますが、市の考えを伺う。	市長 教育長 担当部長
		2. 稲敷市歴史街道の構築が必要と考えるが伺う。	稲敷市の埋もれている歴史、偉人を掘り起こし、それらを知らない世代と地域の人たちに偉大な先人の功績を顕彰し伝えることで、郷土への愛着を深める事ができると考えますが、市の考えを伺う。	市長 教育長 担当部長
14	浅野 信行 議 員	1. 農福連携について	農福連携とは、障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。 全国各地において様々な形での取り組みが行われており、農福連携は確実に広がりを見せています。 稲敷市も農福連携に取り組んではいかがでしょうか。市長に伺います。	市長 担当部長
		2. バイオマスタウン構想について	稲敷市では平成21年度に稲敷市バイオマスタウン構想を策定しました。 現状とこれからのバイオマスタウン構想の取り組みについて伺います。	市長 担当部長